

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

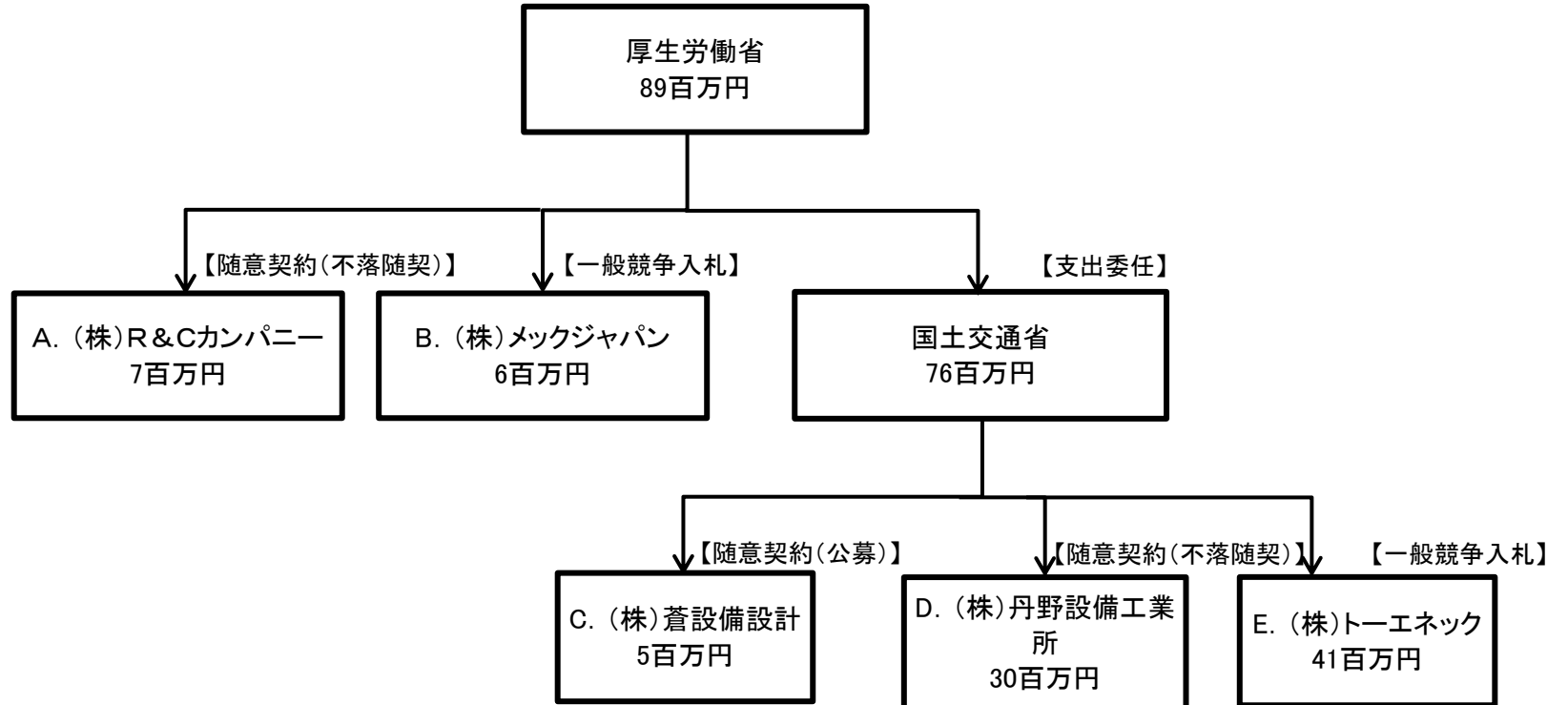
事業名	中央合同庁舎第5号館施設整備等事業			担当部局庁	大臣官房(会計課)			作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房会計課管理室 福利厚生室			橋爪 良雄 上島 隆	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・官公庁施設の建設等に関する法律(昭和二十六年法律第八十一号) ・国家公務員宿舎法(昭和二十四年法律第十七号)第5条			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働省の庁舎等について、経年により老朽化した設備等の改修・整備を行うことにより、来庁者や職員の利便と公務の能率増進を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働省の庁舎等については、築後29年以上経過しており、老朽化が進行している状況にある。このような状況を踏まえ、個々の設備等の不具合発生頻度(耐用年数)や緊急度により、時宜に応じた計画的な改修や更新等を実施している。 平成29年度においては、経年劣化による損傷が著しく、早急な改修が必要となっている、①中央合同庁舎第5号館電気中央監視装置RS盤更新工事、②中央合同庁舎第5号館電灯分電盤更新工事、③中央合同庁舎第5号館空調・衛生中央監視装置更新工事、④厚生労働省電話交換設備更新工事、⑤厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の給水給湯設備改修工事、⑥厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の排水施設改修工事経費を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	292	279	215	226	248		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	176	201	41	157			
		翌年度へ繰越し	▲201	▲41	▲157				
		予備費等	-	-	-	-			
	計		267	439	99	383	248		
	執行額		258	363	89				
	執行率(%)		97%	83%	90%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		88%	130%	41%				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	施設整備費	219	239	工事更新に伴う増					
	施設施工庁費	7	9						
	計	226	248						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	工期内の庁舎等の調査や改修工事等の完了	完了件数	成果実績	件	1	1	2	-	
			目標値	件	2	3	3	-	6
			達成度	%	50	33	67	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	調査及び工事完了報告								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	庁舎等の調査や改修工事等の着手件数			活動実績	件	1	2	4	
				当初見込み	件	2	3	4	3
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X:「当該年度の執行額」/Y:「当該年度の完了件数」			単位当たり コスト 計算式	百万円 X/Y	258 258/1	363 363/1	45 89/2	63 376/6

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国が所有する庁舎等の機能を維持及び向上するために必要であり、公益に資する事業であるため、国民や社会のニーズを反映している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が所有する庁舎等の改修工事であるため、国が実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国が所有する庁舎等の機能を維持及び向上するために必要とされる優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	原則として、一般競争入札を行い、競争性を確保しながら、支出先を選定しているが、中央合同庁舎第5号館電気中央監視装置RS盤更新工事、中央合同庁舎第5号館電灯分電盤更新工事、厚生労働省小川宿舎及び鶴見宿舎の給水給湯設備改修工事経費について、一者応札であり、入札説明書の配布も同様であったため、今後、入札公告があった際には事業者への声かけを行うなど、次回の入札に向けて改善する。なお、一般競争入札を実施したが不落随契となってしまうものについても、複数者から見積を取るなど適切な予定価格を設定し、また、公告期間をしっかりと確保するなどの対策を講じてまいりたい。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により調達を実施または実施予定であり、妥当である。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	整備計画に基づき、真に必要な費目に限定して支出している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	入札実施により予算額との差が生じたもの。			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	調達時期が遅くなったため。(予定:第3四半期、実績:第4四半期)				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	一般競争入札により最小限のコストで事業を実施した。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	一部工事について、計画変更により繰越を行ったものがあった。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績はほぼ見込みどおり推移している。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設については、国の庁舎等の施設として活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度においては、工事の進行段階に把握していない障害物等が発見され、工事の進捗に遅れが生じたため繰越を行っており、成果実績が当初見込みを下回った。</li> <li>一般競争入札による競争性のある調達を実施しており、最小限のコストで事業を実施できた。</li> </ul>				
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の着手及び進捗に遅れが生じないよう、事前の調査やスケジュール管理等を適切に実施し、当初見込みに沿った執行を達成できるように努める。</li> <li>今後についても、引き続き、一般競争入札を実施し、可能な限り低コストで事業を行えるよう努める。</li> <li>工事の調達時期の遅れにより繰越を行っており、工期内に完了しなかった工事があったが、今後も老朽化等のために真に必要な設備等の改修・整備を行っていく。</li> </ul>				
<b>外部有識者の所見</b>						
引き続き、適正かつ効率的な事業執行に努めること。(横田 響子)						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
現 状 通	点検結果は妥当であり、今後も老朽化等のために真に必要な設備等の改修・整備を行っていくために必要な予算額を確保するとともに、一者応札となったものについては要因を分析し、次回の入札に向けて改善を図ること。また、調達スケジュール等の進捗管理を徹底し、工事が遅延しないよう努めること。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
執 行 等	結果的に一者応札となっているものについては改めて要因の分析を行った上で、次回調達時において、予定価格や公告期間等の必要な見直しを行い、引き続き一者応札の改善に努めることとする。					
<b>備考</b>						
-						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	20	平成23年度	20	平成24年度	20	
平成25年度	931	平成26年度	930	平成27年度	936	
平成28年度	904					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)R&Cカンパニー			B.(株)メックジャパン		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	厚生労働省小川宿舎の給水給湯設備改修工事	7	工事費	厚生労働省鶴見宿舎の給水給湯設備改修工事	6
計		7	計		6
C.(株)蒼設備設計			D.(株)丹野設備工業所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
設計業務費	中央合同庁舎第5号館設備の設計業務(電気中央監視装置RS盤更新工事・電灯分電盤更新工事・空調・衛生中央監視装置更新工事)	5	工事費	中央合同庁舎第5号館空調・衛生中央監視装置更新工事	30
計		5	計		30
E.(株)トーエネック			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	厚生労働省電話交換設備更新工事	41			
計		41	計		0

